

現地調査の実施状況

- ・ 1号機原子炉建屋内
- ・ 3号機タービン建屋内及びサービス建屋内並びに
5号機タービン建屋内

2024年2月16日

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

(1) 1号機原子炉建屋内

(1) 1号機原子炉建屋内

(1) 目的

- ・ 福島第一原子力発電所1号機及び3号機で確認されている事故初期高線量率の原因に関する検討に資するために、格納容器からの放射性物質の漏えい箇所として可能性のある箇所の構造・汚染状況を確認する。
- ・ 福島第一原子力発電所1号機原子炉補機冷却系統(RCW系統)の放射性物質による汚染状況を確認する。
- ・ 1号機原子炉建屋における放射性物質の放出経路の推定等に資するために、壁面にてスミア試料を採取する。

(2) 場所

1号機原子炉建屋

(3) 調査日

2023年12月22日

(4) 調査実施者

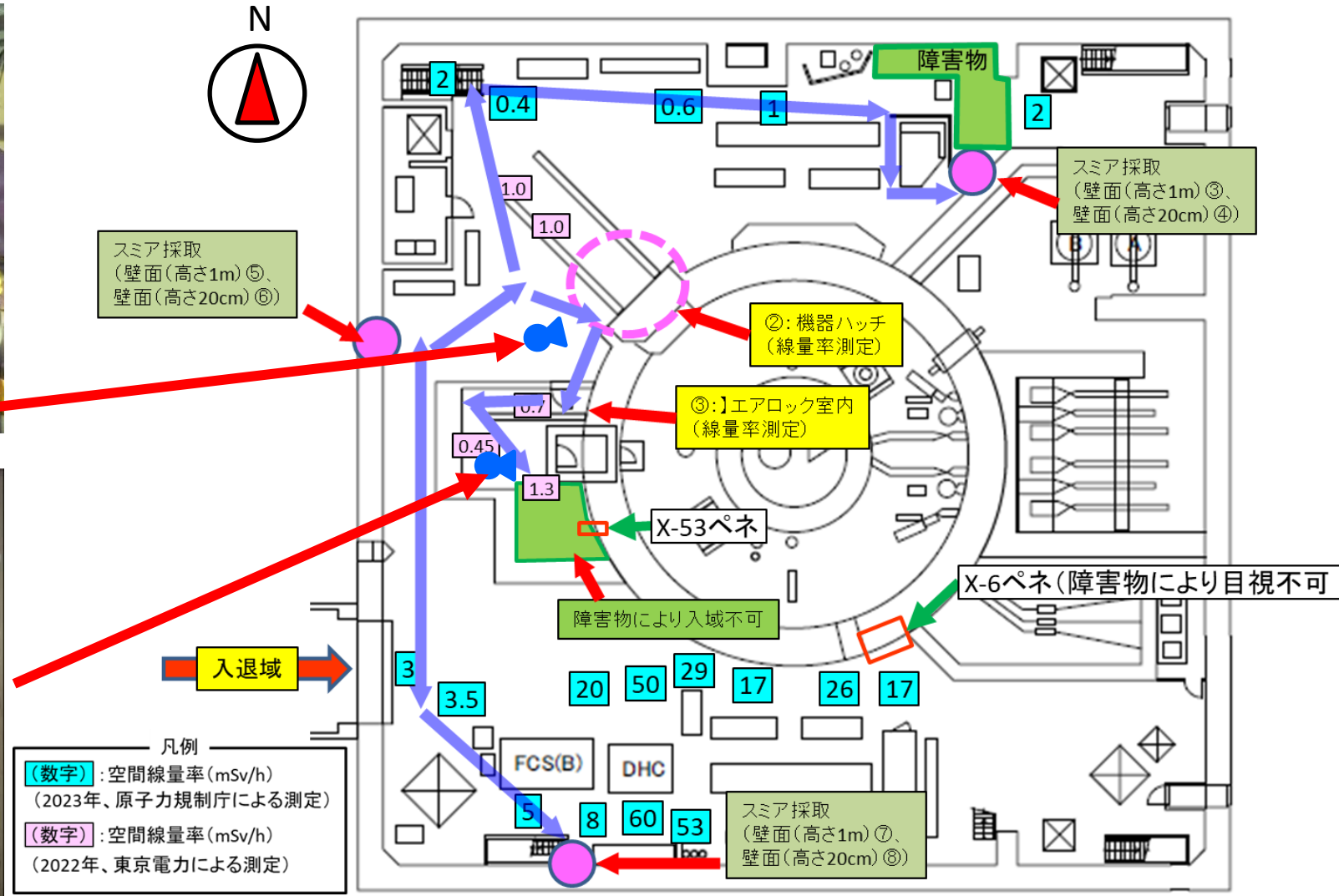
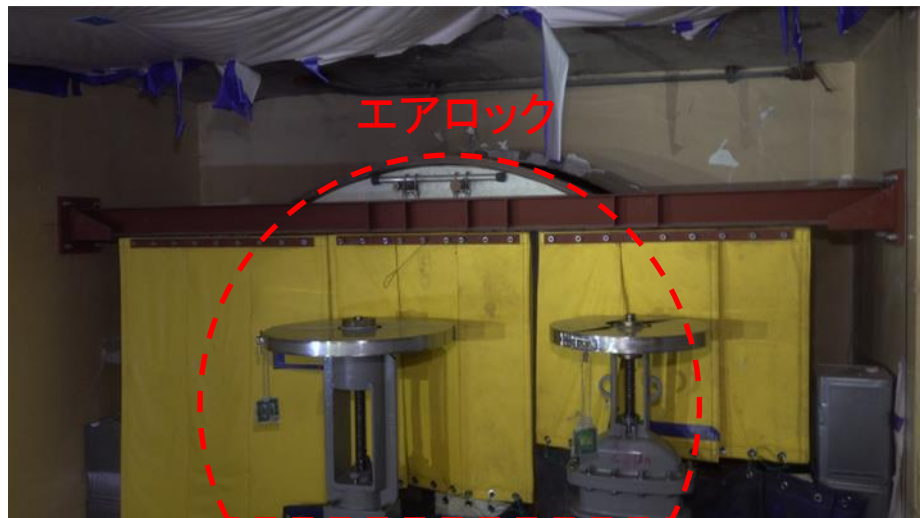
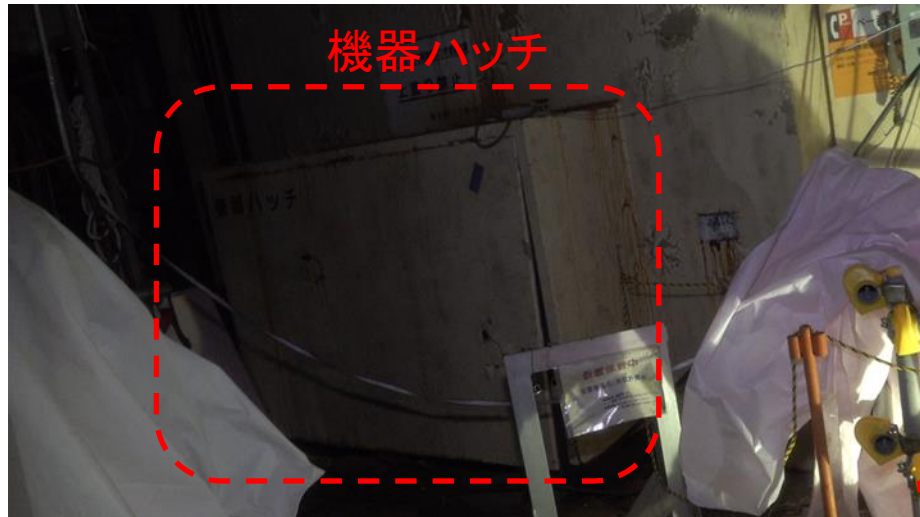
山中原子力規制委員会委員長、原子力規制庁職員 6名

(5) 被ばく線量

最大: 1.86 mSv、最小: 0.80 mSv

※被ばく線量[mSv]の最大、最小は、調査実施者のうち、最も被ばく線量の高い人の値と低い人の値を1日の合計値として示した。

調査箇所及び調査結果（1号機原子炉建屋1階）

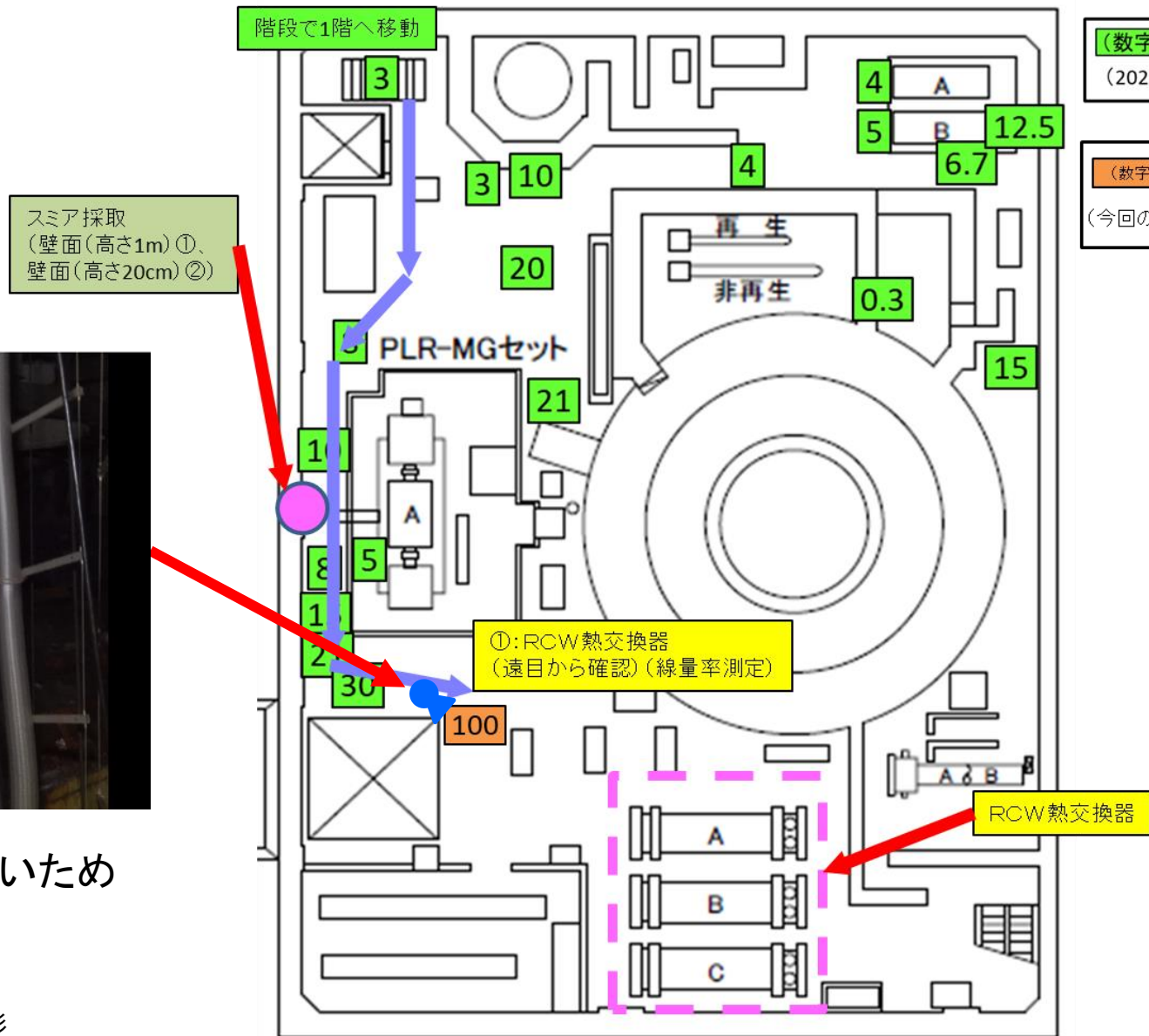


写真は、いずれも2023年12月22日原子力規制庁撮影

調査箇所及び調査結果（1号機原子炉建屋2階）



・RCW熱交換器の周囲は、線量が高いため近づくことができない。



凡例
(数字):空間線量率(mSv/h)
(2023年、原子力規制庁による測定)

(数字):空間線量率(mSv/h)
(今回の調査、原子力規制庁による測定)

(2) 3号機タービン建屋内及びサービス建屋内並びに
5号機タービン建屋内

(2) 3号機タービン建屋内及びサービス建屋内並びに5号機タービン建屋内

(1) 目的

福島第一原子力発電所3号機の電源喪失の要因等の検討に資するために、3号機及び3号機と類似した設計の5・6号機の直流電源系統の設備の配置等を確認する。

(2) 場所

2024年1月18日 3号機タービン建屋内及びサービス建屋内

2024年1月19日 5号機タービン建屋内

(3) 調査日

2024年1月18日～19日

(4) 調査実施者

2024年1月18日 原子力規制庁職員 5名

2024年1月19日 外部有識者 1名(東芝エネルギーシステムズ株式会社 前川シニアエキスパート)、
原子力規制庁職員 3名

(5) 被ばく線量

2024年1月18日 最大: 0.07 mSv、最小: 0.05 mSv

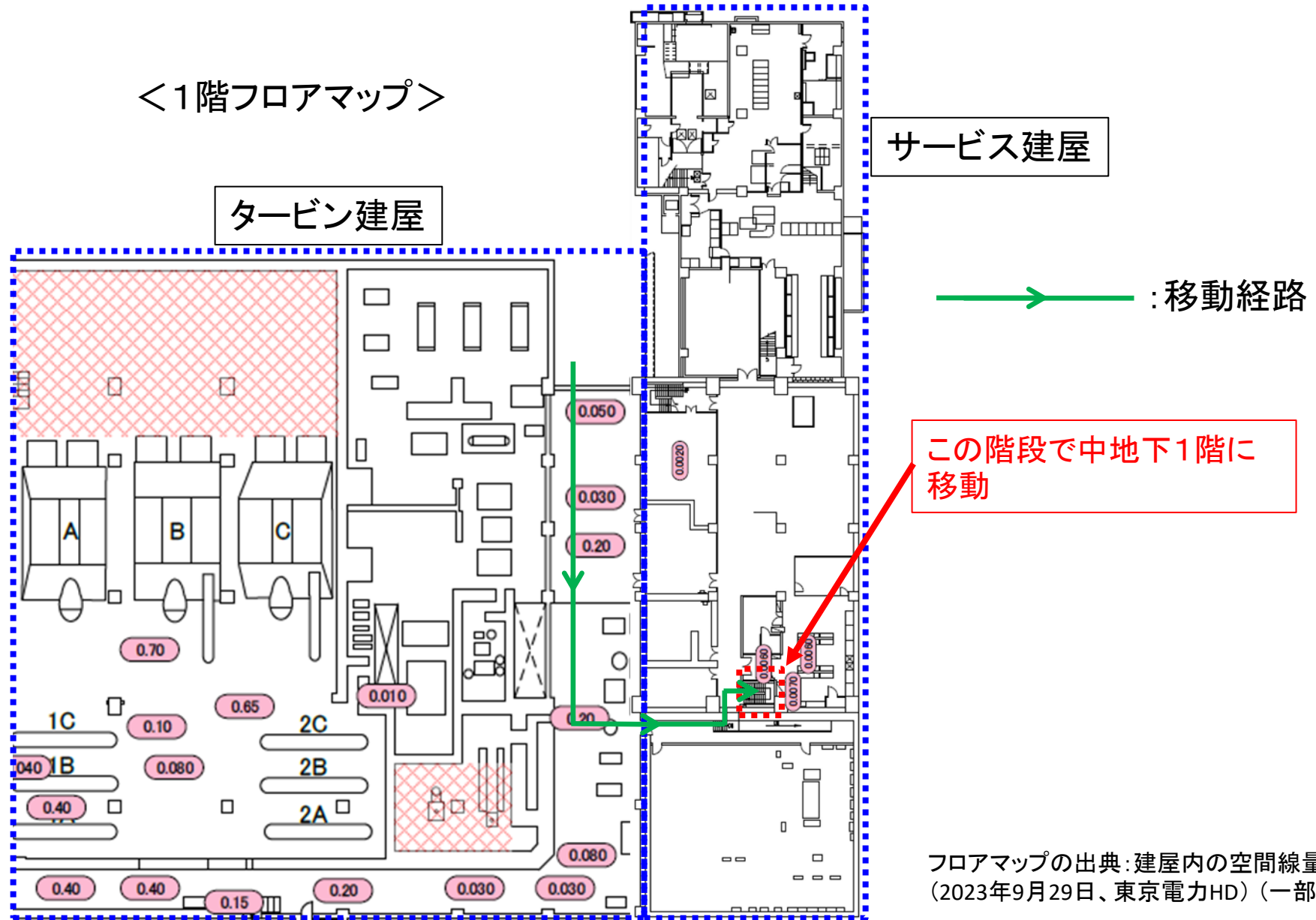
2024年1月19日 0.00 mSv

※被ばく線量[mSv]の最大、最小は、調査実施者のうち、最も被ばく線量の高い人の値と低い人の値を1日の合計値として示した。

3号機タービン建屋内及びサービス建屋内

3号機タービン建屋・サービス建屋内調査

<1階フロアマップ>



フロアマップの出典: 建屋内の空間線量率について
(2023年9月29日、東京電力HD) (一部加筆)

3号機タービン建屋・サービス建屋内調査

<中地下1階フロアマップ>
(直流電源系設置エリア)

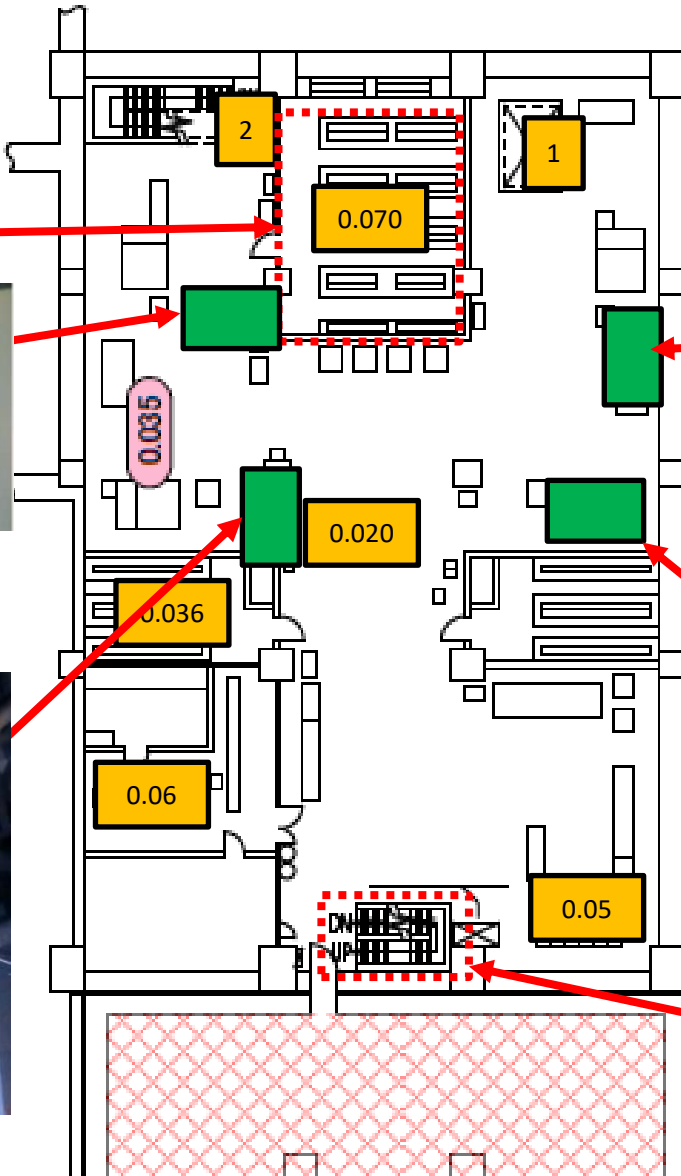
250Vバッテリー室



直流125V充電器盤3A(常用)



直流125V充電器盤3C(予備)



(数字) : 空間線量率 (mSv/h)
(今回の調査、原子力規制庁による測定)



直流250V充電器盤3A(予備)



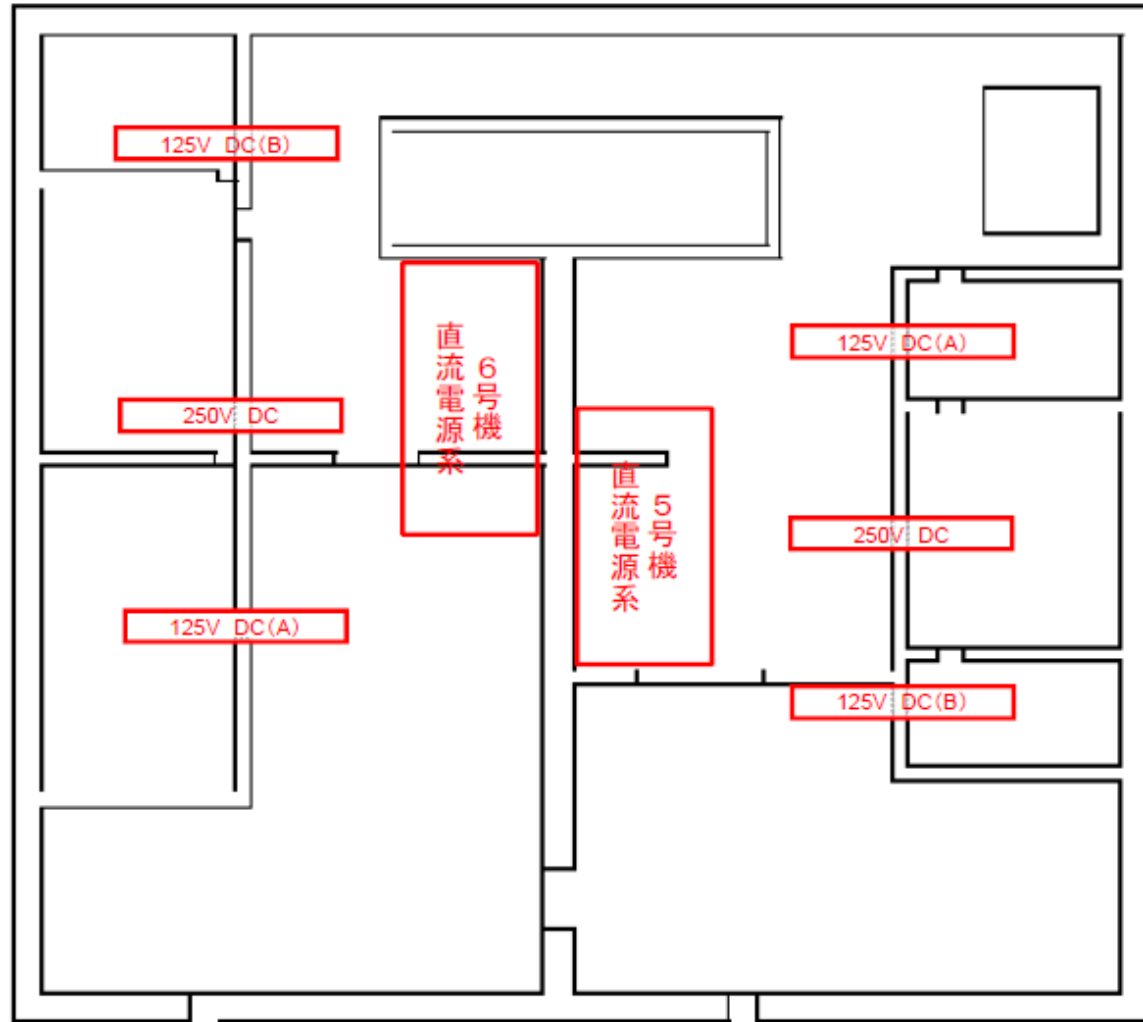
この階段で中地下1階まで移動

フロアマップの出典: 建屋内の空間線量率について
(2023年9月29日、東京電力HD)(一部加筆)

写真は、いずれも2024年1月18日原子力規制庁撮影

5号機タービン建屋内

5号機タービン建屋内調査



5号機 T/B 中地下階

- ・5号機の建屋内に6号機の直流電源系も設置されている。



フロアマップの出典: 政府事故調中間報告書(一部加筆)
写真は、いずれも2024年1月19日原子力規制庁撮影